

# 事故届出書(記載例)

令和2年7月30日

鹿児島県知事 殿

届出者 住所 鹿児島市鴨池新町10-1  
氏名 水質 太郎

水質汚濁防止法第14条の2(第1項, 第2項, 第3項)の規定に基づき, 次のとおり届け出ます。

事故の状況	発生日時	令和 2年 7月 29日 9時 30分
	発生場所	鹿児島市〇〇町1-1
	流出物質の種類及び量	重油50L
	事故の経緯	事業場内の重油貯蔵タンクから重油を取り出そうとしたところ, 操作を誤り重油が漏洩してしまった。 作業者は作業中にタンクから離れて別の作業を行っていたために, 発見が遅れて事業場外に流出してしまった。
	被害の状況	流出先の〇〇川にて魚が20匹程死んでいた。
講じた措置	警察, 消防, 市役所, 保健所に連絡した後, 流出した重油をオイルマットで回収した。	
今後の対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・タンク操作方法に関する従業員への教育(8月末までに)</li><li>・タンク操作時の作業ルール明確化(8月末までに)</li><li>・タンク周辺への防液堤設置(12月末までに)</li><li>・流出に備えた緊急事態訓練の定期的な実施(1回/年)</li></ul>	

添付書類: 事故概要の図面(流出経路等を記入)